哀音

末吉安持

青空文庫

――汽車の窓にて

夏の日の午さがり、
我が汽車は物憂げに
黒き煙を息吹きつゝ、
炎天の東海道を西へ馳す。
世ゆゑ、はたわれからの
黒熱に膿み爛れ、
灰汗の洪水の胸底の
政の庁を失ひし
病人なれば、天地の
眺望ことごと灰濁みて、
あゝうたてしや、ひたぶるに、涙ぞ落つる。
乗合は背と背
肩犇々とすりあひぬ。
近江を過ぎて京ちかき

山科や、竹の入日に、
鬱憂のこゝろは重く、
倦じ疲れたる目はひと目
線路の砂に——あゝこの時、
胸はまた膿みて潰れぬ。
見よ、鉄道の枕木は、
癒ゆべからざる病人の
素枯れはてたる肋骨なり。
と見る、また我が乗る汽車は
痩せて細れる肋骨を
毒ある牙に噛みてゆく
黒蛇よ、あゝ死の使ひ。——
『無明』の子なる病人は、
をさな心にいとせめて
垂乳根の膝まくら
しばし安睡の夢見むと、
指す故郷の琉球は

五百里さかる海の島、
われを載せたる黒蛇は
勢ひ猛に、こは如何に、
その故郷も行過ぎつ、
右に横たふ山脈は
はや冥府の国、血に染めし
硫黄の池も近づくよ、
あなゆるせやと唸き伏し、
やゝありて我にかへれば、
京は水無月、祇園会の
空うつくしき星月夜、
我が汽車はしづしづと
涙さしぐむ哀音の
汽笛して七条出でぬ。

青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」　国書刊行会
　　1991（平成3）年6月6日第1刷
入力：坂本真一
校正：フクポー
2018年1月27日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

哀音

末吉安持

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/